

令和元年度学校評価 自己評価書

2020（令和2年）3月
学校法人高橋学園
千葉学芸高等学校

1. 学校教育目標

〈1〉建学の精神と教育目標

建学の精神「創造」	
教育目標	1. 心の創造 強い精神力と思いやりの心 2. 智の創造 知性と判断力 3. 美の創造 感性と技芸

建学の精神

建学の精神は私立学校にとってその教育の最も根幹となる目標を示すものであり、すべての教育活動を建学の精神に位置づけて行われる。千葉学芸高等学校では、建学の精神「創造」のもと、美しい人類文化の創造にあたる実力を備えた人材の育成を図る教育活動を展開する。

教育目標

教育目標は、建学の精神「創造」の具現化のため、心・智・美の観点から獲得を期待する知識技能能力の内容を示す。

心の創造においては、物事への集中や忍耐のできる強い意志を備えつつ、優しい思いやりも併せ持つ人間性の涵養を図る。

智の創造において、知性を磨き、知識を蓄積するのは正しい判断のできる理性を備えるためである。

美の創造においては、美しいものを美しいと感じ、それを言葉や身体で美しく表現できる能力や技能の獲得を図る。

〈2〉教職員および生徒の行動目標

教育目標の実現のため教職員は、以下の信条のもとに教育活動にあたる。

《職員の信条》

- (1) 建学の精神を生かし、日本人の特性と校風を高揚せん
- (2) 自己の誇りと責任を自覚し、全機能の発揮に当たらん
- (3) 親和・協力の心を基とし、内容の充実を求めん
- (4) 良き社会人たる素質を磨き、生徒の進路に万全を期せん

生徒は、以下の誓いのもとに学校生活の充実を期す。

《誓いの言葉》 (1) よい伝統と、よい校風をつくります (2) はつらつとした若さで学力・技能を磨きます (3) 愛敬の心を生活に表します

また、以下の学年目標に沿って自己の研鑽・向上を図る。

1 学年の目標	《自学》 私たち1年生は、次の目標をしっかりと実行して進みます。 (1) 高校生としての礼法・言語・動作を立派に築きます (2) 友情・協同の精神を発揮します (3) 自信の持てるまで努力いたします
2 学年の目標	《充実》 私たち2年生は、学校の中心となり、充実した学年を築きます。 (1) 自分の将来の方針をたて、目標達成のために根強い努力をします (2) 愛校・友情の精神を一日の生活に表します (3) 自信の持てる力と人格を築きます
3 学年の目標	《独立》 私たち3年生は、自分の将来の方針をたて、最高学年として人格を磨き、よい社会人となります。 (1) 全校のよき指導者となります (2) 社会にたつ一切の準備をいたします (3) 自己の誇りと責任を自覚し、協力貢献を実践します

〈3〉年度目標

以上を踏まえて、令和元年度の目標を以下のように設定した。

令和元年度学校目標 『学びの探究』

One Up（ワンナップ）は「ひとつひとつスコアアップを図ること」。

千葉学芸高校として20年目。本年度のスローガンは「学びの探究」とした。

2年生以上は「総合的な学習の時間と呼ばれていた科目」が、1年生からは「総合的な探究の時間」に変わった。

21世紀スキルという現代的な学力観に基づいて、「メタ学習能力」という、受け止めるだけでなく、自らわからないことをわかっていく探究的な学びの姿勢が重視される。

こういった学ぶ意欲やEラーニングを活用した学び方など、学びそのものを探究することで、実力向上を実感する機会を増やしたい。

小学校は2020年から、中学校は2021年から、高等学校は2022年から新しい学習指導要領が実施となる。日本の教育は戦後最大の大きな変革期を迎えており、2021年1月の大学

入試は大学入学共通テストに変わる。全国版の実力テスト「高校生のための学びの基礎診断」や高校生の学びの課程を記録するEポートフォリオも始まる。

こういった動きについて、本校ではすでに3年前から準備をしており、Eポートフォリオの活用も2018～2019年の2年間をかけて本格運用していく。生徒にとって手遅れとならないように、最新の情報を入手し、対策を整え、最新のシステムを活用して対応する。

新学習指導要領では、「学ぶとはどのようなことか」「知識とは何か」といった研究から、『人生を主体的に切り拓（ひら）くための学び』が、21世紀の学びの姿として浮かび上がってきた。学校から社会へとスムーズにつながっていくためにも、高校生までに身に付けておくべき資質能力が明確になる必要がある。そのため、学ぶべき資質・能力が3つの柱で整理された。

- 1) 「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）」
- 2) 「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」
- 3) 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）」

これらは、「生きる力」と呼ばれる人間力の要素でもある。教科の学習はもちろん、学校行事などの体験や、クラブ活動で養われる趣味や豊かな人間性、コミュニケーション力など、総合的な実力が、学校での学習活動の中で育まれるように工夫し、実力を伸ばすチャンスをたくさん設定することとし、さまざまな活動にチャレンジをし、実力を磨く活動を行う。

教職員にタブレット端末を配布し、授業と校務分野での活用を開始して5年目となる。ベネッセ社の学習支援システムClassi（クラッシー）を生徒対象に導入し、実力テスト（基礎学力テスト）の誤答分析をもとに苦手単元のEラーニング動画教材を提示するなど、学習を支援するシステムを運用している。

2007年から導入したEラーニングは、新たにベネッセの学習動画（2万本）を基本とし、リクルートのスタディサプリ4万本を受験対策として進学コース及び希望者に追加導入した。いずれも特別割引価格で生徒に提供する協定を結んでいる。小学校4年の算数から大学受験まで幅広くカバーするEラーニング体系となった。

施設設備面では、教職員用PCと関連するネットワーク機器の更新を予定している。生徒用のタブレット端末導入についても、文部科学省の補助金を活用して実施していくよう検討する。

上記目標に主眼をおきながら、人格形成・コミュニケーションの充実、学力向上・技能獲得向上・資格取得、進路開拓などを目指して教育学習活動にあたる。特に特性の伸長、人間性の育成、技能教育を重視し、色彩教育、情報教育、福祉教育、環境教育、国際教育などに関連する授業や学校行事、クラブ活動などの諸活動の展開・充実を期す。

2. 学校の概要

学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校

〒283-0005 千葉県東金市田間 1999 番地

TEL 0475-52-1161

FAX 0475-52-1163

インターネット <http://www.cgh.ed.jp/>

電子メール info@cgh.ed.jp

平成 30 年度	学級数・生徒数	1 学年	5 学級	200 名
		2 学年	5 学級	176 名
		3 学年	4 学級	155 名
		全校	14 学級	531 名

学校の概要については、インターネットホームページで公表。また、コースガイド、創立 130 周年記念誌等の冊子にて紹介している。

3. 各部門の活動内容・活動状況（学校要覧）

学校の特色、および以下の事項等については、令和元年度学校要覧（冊子全 74 頁、関係者向け 5 月刊行）に記載。

- ・ 学校施設・設備、校舎面積
- ・ 学校行事の内容
- ・ 生徒会活動の内容
- ・ クラブ活動の内容
- ・ 教職員の担当学年、担当教科、校務分掌、授業の持ち時間数、所持免許状の種類
- ・ 校内研修の内容
- ・ 学習指導（授業時数、時間割、総合的な学習の時間の内容）
- ・ 学籍・出欠席統計
- ・ 生徒指導上の諸問題及びそれに対する学校の対処や指導の状況
- ・ 進路の状況
- ・ 安全管理・保健管理（保健安全、防犯対策、防災対策）
- ・ 各部門の予算執行状況
- ・ 父母の会活動状況、地域との連携等の状況

4. 自己評価（令和元年度）

A. 全般の評価

（1）評価

全般評価：良好

（2）課題と改善策

全般に関わる特に重要な課題として、生徒募集および学力の向上の2つを取り上げる。

次に、令和元年度のトピックとして、台風被災やウイルス感染症への対策等について述べる。

概況

2019年4月に皇位継承により平成が終了し5月1日から令和という年号に変わった。秋には台風15号や21号による暴風や大雨での被災があり、2020年1月頃から新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、3月2日より全国一斉臨時休校を実施、4月7日に感染症緊急事態宣言発出、2020年の東京オリンピックは1年延期が決定など、社会的な混乱が続いている。

生徒募集状況の課題

平成31年度の新入学生徒数は前年+5名であり、前年・前々年の+24、+37に続き増加をみた。近郊の中学卒業生数が減少する中で、長生・大原高校の1学級減があったが、近隣公立高校の定員は過剰気味で厳しい状況が続いており、私学の定員割れが続くなど環境が悪化する中でも広報部を中心に生徒募集の努力をした結果であり、募集定員の7割程度であるが、増加を図った努力の成果があった。印旛地区・山武地区の中学校長を経験した広報担当職員、印旛地区から県中学校長会長経験者を迎えたほか、若手広報人材も経験を積み熱心に活動した成果である。千葉市などからの志願者入学者増が好材料となっているほか、野球部の県北西部など広範囲からの生徒募集も奏功した。

令和2年度の生徒募集では、公立学校の入学定員について、山武地区では中学校卒業生数の減少と、累積的な過剰枠（＝私学の未充足枠）に対応し5学級程度の削減が必要である。これに対し、山武地域の定員削減は2（松尾・大網各1）で、非常に厳しい状況であったため、本校令和2年度入学者は前年－5名、2.5%減の195名（募集定員の70%）であった。授業料減免制度や、公務員コース、福祉コース、芸能コース、ロボットをはじめとする情報化施設設備活用、野球部・吹奏楽部の強化などの取り組みが魅力を高めたことが生徒獲得に貢献したと考えられる。また千葉県私学教育振興財団の協力のもとで設けた入学資金貸付制度は2年目となり18名が利用した。

本校の在学生の教育向上・進路状況は良好であり、困難な生徒募集状況は近隣公立学校定員過剰・公私学費格差等の外部要因によるものが主である。公立高校の募集人員増減により直接左右される状況は脱していく必要があり、受験生から選ばれるための魅力を一層高める必要がある。生徒募集の拡大のためには、内容の充実、広報・PRの工夫等の自己対処方策の充実発展により改善を図っており、授業料減免制度や奨学金制度の周知により私学を敬遠する意識の解消にも努めている。その結果、新入生では約6割が授業料減免制度を利用するなど、公私学費格差を乗り越える状況が生まれつつある。

今後も、環境悪化にも耐える体質改善を図るとともに、一層の広報努力によって生徒獲得を展開し

なければならない。中学校教員も世代交代しており、本校ならではの数々の優れた特質について、中学校現場で十分には知られていないことが懸念される。より丁寧でわかりやすい広報が必要であり、広報活動の質的量的改善も図っていく必要がある。県教委の動向を注視し、展望をもって取り組んでいきたい。

学力の向上

11年前から言語表現力の向上に取り組み、国語科および学年会による漢字学習指導、作文指導、全校漢字学力テストの複数実施、校内漢字検定を継続している。常用漢字の書き取りについて、個々の生徒の繰り返しの学習成果は着実に現れ、作文でもほとんど漢字が書けなかった生徒が、適切な漢字かな交じりで文章を書けるようになるなどの効果が生まれた。R80という80字程度の短文で学校生活の記録をまとめるという学習も、記述式入試問題対策の一環としても展開している。基礎学力を身に付けたことに自信を深めた生徒が他の学習に意欲的に取り組む姿もみられ、教師による学習の働きかけと継続的な指導が奏功している。校内文芸コンテストも第6回を迎え、年間を通じて授業課題などで提出された作文や文芸作品から選ばれた優秀作品も質的に向上をみた。

学力上位者については、朝夕の特別学習講座に加え、eラーニングビデオ教材を活用して特別進学に対応する学習に取り組み学力向上を図った。城西国際大学・東京理科大学・千葉工業大学・日本大学をはじめ多数の指定校推薦枠を得ているほか、難関私立大学や大学入試センター試験を経て国立大学に挑戦するレベルの生徒もあり、進学コース設置の効果が現れつつある。

近年は看護学部・看護学校への進学も多く見られる。理学療法を専攻するものもあり、医療福祉系に伸びがみられるので、推薦制度も活用しながら今後も拡大を図りたい。一般受験で立教大学・青山学院大学などへの合格者を輩出したほか、野球部を中心としてスポーツ推薦で進学があった。

施設設備の拡充

（1）総合グラウンド部室棟新築

野球部に90名超の入部が見込まれることから、総合グラウンドに部室棟を新築した。鉄骨ユニットハウス工法2階建157.1㎡。大型スポーツロッカー32台を配置。

（2）サイクルポート増設

生徒増に伴い、校地東側に72台収容のサイクルポートを新築。

（3）テニスクラブハウス改修

テニスコートクラブハウスが老朽化したため、屋根および内装を更新。

（4）A棟エアコン改修

A棟エアコンが老朽化のため更新した。

台風災害

9月8日台風15号、10月12日台風19号の暴風により、バス車庫屋根破損、グラウンド倉庫屋根破損、グラウンド東屋倒壊、職員住宅屋根破損、グラウンド野球場防球ネット支柱損傷、グラウンド桜樹木倒壊などの被害があった。火災保険適用により大部分が修復。

10月25日台風21号の豪雨災害。JR線運休により生徒75名が帰宅困難となりセミナーハウスに

宿泊。東金市より毛布・歯ブラシの支給を受けた。弁当100食を調達し夕食に支給、学校の災害備蓄より非常食（朝食）・水・タオルを支給。また、テニスコート法面が崩落し修復工事を行った。

栄誉の記録

- ・全国優勝 自転車競技（個人）2年中村凌輔選手。全国高校総体。
- ・全国優勝 空手（個人） 1年三ヶ島玲奈選手。ジュニアチャンピオンシップ。
- ・千葉県優勝 自転車競技（団体）チームスプリントの部。
- ・林野庁長官賞 愛鳥週間ポスター 3年増田晴奈（美術部）
- ・歌会始めの儀 陪聴者 高橋邦夫校長（全国私学代表）、皇居正殿松の間。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

3月2日から臨時休校。春期休業をはさんで4月6日始業式。

卒業式は卒業生と保護者（同居）のみの参加で、式歌は斉唱せず演奏のみ。入学式も同様。

マスク、アルコール消毒液を早期に手配。一部（N95マスク）は非常用備蓄を利用。

4月15日以降、双方向オンライン授業を実施。授業休業は5日間程度で済んだ。

その他

私立学校法改正に伴い、学校法人高橋学園寄附行為を改定し令和2年4月1日施行。学園規定集第9集を発刊。

B. 部門ごとの評価（学校要覧に記載）

5. 学校関係者評価

学校運営会議開催（9月）。

保護者（5月）および生徒（2月～3月）にアンケートを実施した。

以上